



特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月 5 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者
住 所 茨城県筑西市五所宮1150番地
氏 名 (株)レゾナック 下館事業所(五所宮)
事業所長 鈴木 賢二
電話番号 0296-28-2222

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

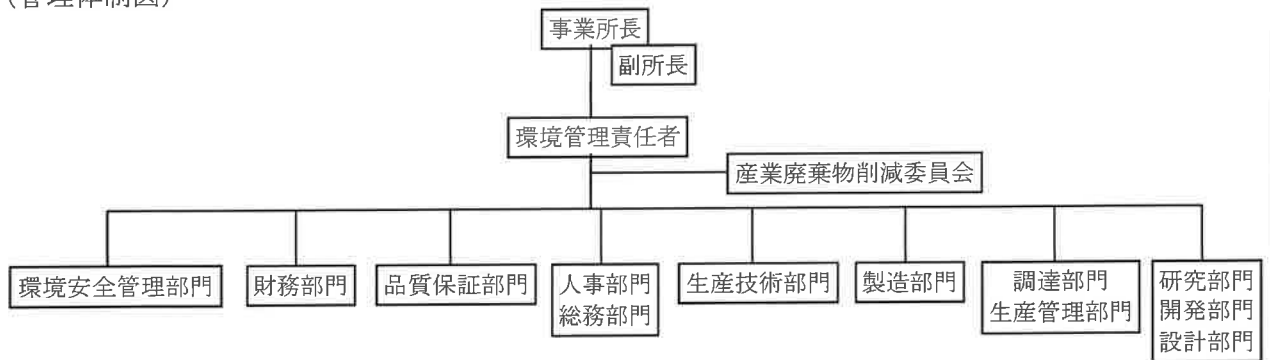
事業場の名称	(株)レゾナック 下館事業所(五所宮)
事業場の所在地	茨城県筑西市五所宮1,150番地
計画時期	令和6年4月1日から令和7年3月31日

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	その他製造業
② 事業の規模	前年度の売上高 326.6億円
③ 従業員数	810人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>下館事業所(五所宮)</div><div><div>廃油 (廃溶剤)</div><div>委託処理 (再生業者へ委託: 蒸留再生)</div><div>委託処理 (再生利用業者へ 委託:油水分離)</div><div>廃酸</div><div>委託処理 (再生利用業者へ 委託:中和・再生)</div><div>廃アルカリ</div><div>委託処理 (再生利用業者へ 委託:焼却)</div><div>特定有害 産業廃棄物</div><div>委託処理 (処分免状保有の 業者へ委託:再生ほか)</div></div></div>

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

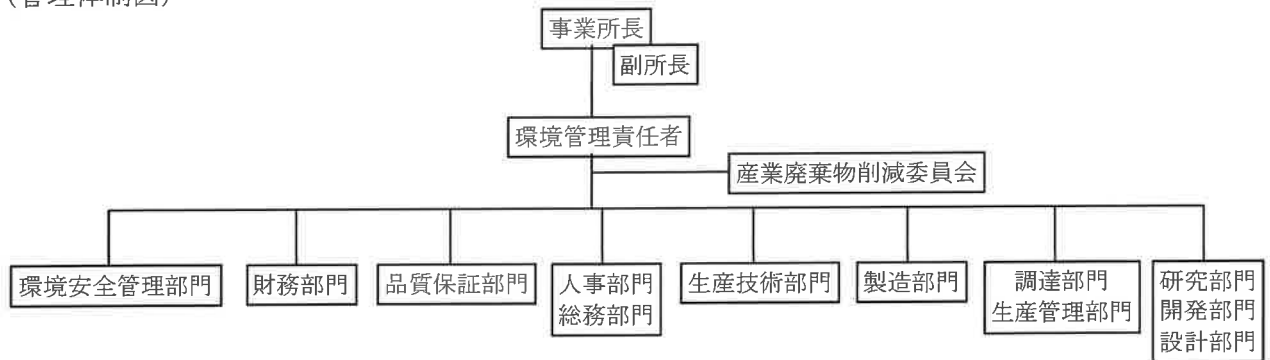
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（廃溶剤）	廃酸
	排出量	914.8 t	220.0 t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄溶剤の繰り返し使用による溶剤排出量の低減 ・廃酸再生業者への委託処理 ・少量溶解槽導入による洗浄溶剤の低減 ・ワニス歩留り向上による廃棄量低減 		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（廃溶剤）	廃酸
	排出量	1,006.3 t	242.0 t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄溶剤の繰り返し使用の継続 ・歩留まり向上によるメッキ廃液の低減 ・ワニス歩留り向上による廃棄量低減 ・材料期限切れ管理強化による廃棄量削減 		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・液状溶剤と粘着材入溶剤の分別実施 ・専用ポリ容器及びポリフィルムによる分別回収実施 ・pH値による産業廃棄物との選別
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・液状溶剤と粘着材入溶剤の分別実施 ・専用ポリ容器及びポリフィルムによる分別回収の継続実施 ・pH値による産業廃棄物との選別

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

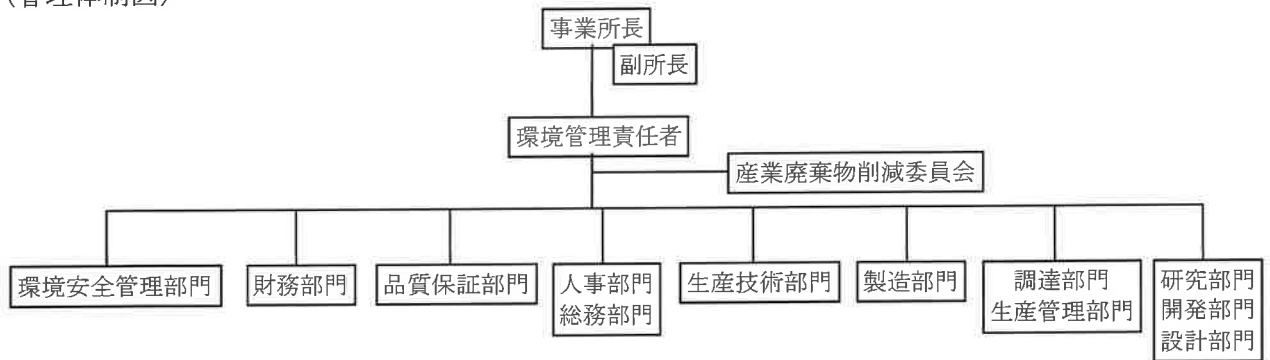
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物 （廃アルカリ）
	排出量	0.4 t	2.0 t
	（これまでに実施した取組）		
	・ バッチ生産による排出量抑制		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物 （廃アルカリ）
	排出量	0.4 t	2.2 t
	（今後実施する予定の取組）		
	・ バッチ生産による排出量抑制継続		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ pH値による産業廃棄物との選別
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ pH値による産業廃棄物との選別

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害産業廃棄物 (汚泥)	特定有害産業廃棄物 (廃石綿)
	排 出 量	0.001 t	0.62 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 有害性の低い材料への切替検討		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害産業廃棄物 (汚泥)	特定有害産業廃棄物 (廃石綿)
	排 出 量	0.000 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（廃溶剤）	廃 酸
	全 処 理 委 託 量	914.8 t	220.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	270.0 t	89.9 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	771.7 t	217.8 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	143.1 t	2.2 t
	（これまでに実施した取組）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油（廃溶剤）の性状別（液状、粘着状）によるリサイクル処理委託先の選定実施（液状：蒸留再生、粘着状：油水分離） ・廃酸中和処理後の脱水汚泥リサイクル業者への委託処理実施 ・廃酸再生業者への委託処理 		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物（廃アルカリ）
	全処理委託量	0.4 t	2.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.4 t	2.0 t
	（これまでに実施した取組）		
	・ 廃アルカリ焼却処理後の燃え殻リサイクル業者への委託処理実施		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害産業廃棄物 （汚泥）	特定有害産業廃棄物 （廃石綿）
	全処理委託量	0.001 t	1.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	0.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.001 t	0.0 t
	（これまでに実施した取組）		
	・燃え殻リサイクル業者への委託処理実施		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（廃溶剤）	廃 酸
	全 処 理 委 託 量	1,006.3 t	242.0 t
	優良限定処理業者への 処 理 委 託 量	297.0 t	98.9 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	848.9 t	239.6 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	157.4 t	2.4 t
	（今後実施する予定の取組） ・廃油（廃溶剤）の性状別（液状、粘着状）によるリサイクル処理委託先の 継続実施（液状：蒸留再生、粘着状：油水分離） ・廃酸中和処理後の脱水汚泥リサイクル業者への処理委託継続実施 ・廃酸再生業者への委託処理継続		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）		1,137.821 t
※事務処理欄	（今後実施する予定の取組等） JWNETに加入済みで運用中。（電子マニフェスト化率 100%）		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物 (廃アルカリ)
	全 処 理 委 託 量	0.4 t	2.2 t
	優良限定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.4 t	2.2 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃アルカリ焼却処理後の燃え殻リサイクル業者への処理委託継続実施 ・ 特定有害物質を使用していない設備への切替		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		1,137.821 t
	(今後実施する予定の取組等) JWNETに加入済みで運用中。（電子マニフェスト化率 100%）		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害産業廃棄物 (汚泥)	特定有害産業廃棄物 (廃石綿)
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	0.0 t
	優良限定処理業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・環境省指針に基づく低濃度PCB（蛍光灯安定器）の処分		
	電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】	
特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)			1,137.821 t
(今後実施する予定の取組等)			
JWNETに加入済みで運用中。（電子マニフェスト化率 100%）			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。